

第7回九州HAL®愛好会

ご挨拶

九州HAL®愛好会は、現地参加のみのHAL®勉強会ではじまり今回で第7回となりました。第1回はコロナが落ち着いた2022年12月17日、ホテルニューオータニ博多で開催されました。当初より現地開催のみとして発足し、発表者と聴衆はHAL®使用に熱心なスタッフですので、大変有意義な会として成長しています。参加者においては、お互いのメールアドレス交換を行い施設間の親睦も深まっています。改めて、九州全体でHAL®を有効活用していく上での本会の重要性を実感しています。

第6回は2025年4月19日、特別講演をHITO病院理事長石川賀代先生にお願いし、病院DXとリハビリテーションについて学びました。年2回開催していた九州HAL®愛好会ですが、去年は第1回サイバニクス医療研究会が2025年11月22日に福大メディカルホールで行われましたので今回が1年ぶりの開催となります。この間、新たにHAL®を導入された施設もあると思います。使用方法や適応などについて疑問などありましたら是非愛好会に参加していただき参考にしていただけたらと思います。

今回、基調講演は福岡大学病院リハビリテーション部福田宏幸先生、白十字病院脳卒中センターリハビリテーション部谷口由香理先生に、両施設での運用方法と課題について発表していただきます。一般講演ではHAL®の使用経験に加え、主に各施設での運用上の問題点や疑問点などを発表していただき、解決に向けたアドバイスやアイデアを議論していただければと思います。

また、ご多忙の中、特別講演をHAL®の開発者である筑波大学教授山海嘉之先生にお願いしました。サイバニクス医療の世界展開についてお話いただく予定です。現在、日本で誕生したHAL®を用いたリハビリテーションは、世界中の患者さんの機能回復に大きく貢献しています。

最後に、この愛好会をご支援していただいているCYBERDYNE（株）スタッフ他すべての方々に深謝するとともに、HAL®が今まで以上に適切かつ有効に活用され、多くの患者さんがHAL®リハビリテーションの恩恵に預かることを願っています。

福岡大学脳神経外科名誉教授

白十字病院脳卒中センター長

井上 亨



第5回九州HAL愛好会2024.10.5

概要

最高顧問	山海嘉之	筑波大学 システム情報系 教授、 サイバニクス研究センター 研究統括、 未来社会工学開発研究センター (F-MIRAI) センター長 CYBERDYNE (株) 代表取締役/CEO 内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) プログラムディレクター
代表世話人	井上 亨	福岡大学病院脳神経外科名誉教授 福岡大学病院 元病院長 白十字病院脳卒中センター長
世話人	安部 洋 鎌田 聡 塩田悦仁 下堂 蕪 恵 阪元政三郎 入江暢幸	福岡大学病院脳神経外科教授 福岡大学病院 副院長 福岡大学病院リハビリテーション科教授 福岡大学病院リハビリテーション科名誉教授 百年橋リハビリテーション病院 院長 鹿児島大学大学院歯学総合研究科リハビリテーション医学教授 白十字リハビリテーション病院 院長 福岡リハビリテーション病院 院長
幹事	三浦聖史 渡邊芳彦	白十字リハビリテーション病院 副院長 白十字リハビリテーション病院 リハビリテーション科部長
事務局長	若松浩二	CYBERDYNE (株)シニアアドバイザー
代表事務局担当	吉原理沙	CYBERDYNE (株)
九州事務局担当	黒木恭子	白十字病院脳卒中センター長秘書

第7回九州 HAL 愛好会 プログラム

開会の挨拶

13:30-13:35	社会医療法人財団白十字会 白十字病院 脳卒中センター長	井上 亨
-------------	-----------------------------	------

基調講演

13:35-14:25	(発表 20 分、質疑 5 分)	
-------------	------------------	--

座長	鹿児島大学大学院歯学総合研究科 リハビリテーション医学教授	下堂 蘭 恵
----	-------------------------------	--------

基調講演 1	当院でのロボットスーツ HAL の運用方法と問題点	
	福岡大学病院	福田 宏幸

基調講演 2	脳卒中センターにおける HAL®単関節タイプの運用と課題	
	社会医療法人財団白十字会 白十字病院	谷口 由香里

(休憩 10 分)

一般演題 1 - 4

14:35-15:10	(各発表 6 分、質疑 2 分)	
-------------	------------------	--

座長	社会医療法人財団白十字会 白十字リハビリテーション病院 院長	阪元 政三郎
----	--------------------------------	--------

演題 1	地域包括ケア病棟における短期 HAL 入院の取り組み	
	社会医療法人財団白十字会 白十字リハビリテーション病院	吉田 拓哉

演題 2	当院における HAL 医療用単関節タイプの運用体制構築と課題	
	社会医療法人療仕会 松本病院	高祖 優誠

演題 3	回復期早期脳卒中片麻痺患者における HAL と MCP 併用の歩行訓練における歩行改善効果	
	社会医療法人財団白十字会 耀光リハビリテーション病院	阿部 幸介

演題 4	重度の片麻痺と注意障害を呈した急性期ラクナ梗塞に対する HAL 医療用単関節タイプ介入の一例	
	社会医療法人財団白十字会 白十字病院	奥 蘭 力也

一般演題 5 - 7

15:10-15:35	(各発表 6 分、質疑 2 分)	
-------------	------------------	--

座長	福岡大学病院 リハビリテーション科教授	鎌田 聡
----	---------------------	------

演題 5	C5・6 頸椎症に対して HAL®を用いたバイオフィードバック療法を実施し機能改善を認めた 1 例	
	社会医療法人青洲会 百年橋リハビリテーション病院	利重 敦大

演題 6	胸部硬膜内髄外脊椎腫瘍を呈した患者に対して HAL を使用し、歩行の改善に繋がった一症例	
	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院	川元 遼也

演題 7	脊髄炎後の歩行不安定性を呈した症例に対する HAL-FL05 を用いた経験	
	社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院	中原 浩喜
一般演題 8-10		
15:35-16:00	(各発表 6分、質疑 2分)	
座長	医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院 院長	入江 暢幸
演題 8	HAL 医療用下肢タイプ (HAL) の長期治療が筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の歩行機能に及ぼす効果	
	社会医療法人春回会 長崎北病院	本多 歩美
演題 9	HAL 自立支援用下肢タイプ Pro を用いた進行性神経筋疾患患者への低頻度かつ長期的な介入の報告	
	医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院	中西 司
演題 10	短期間での HAL 単関節タイプの短期間介入により自動運動が出現した脊髄形成不全患者の一例	
	医療法人春水会 山鹿中央病院	宮崎 春奈
(休憩 10分)		
特別講演		
16:10-16:50	(発表 35分、質疑 5分)	
座長	社会医療法人財団白十字会 白十字病院 脳卒中センター長	井上 亨
演題	医療用 HAL に代表されるサイバニクス技術と国際展開の最新動向	
演者	筑波大学 システム情報系教授、サイバニクス研究センター研究統括、未来社会工学開発研究センター (F-MIRAI) センター長 CYBERDYNE (株) 代表取締役/CEO 内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) プログラムディレクター	山海 嘉之
閉会の挨拶 (写真撮影)		
16:50-17:00	社会医療法人財団白十字会 白十字病院 脳卒中センター長	井上 亨